

図書館ニュース



「絵巻物で調べる」

学長 瀧上 凱令

本誌の48号に書きましたが、私の専門は心理学です。心理学は自然科学に近い学問ですから、研究上での文献の利用は、学術雑誌に発表された論文を読んで、参考にしたり、引用したり、批判したりといったことが中心になります。したがって、必要な論文を探して、そのコピーをどこかの図書館から取り寄せていただくというのが図書館の利用の仕方です。これまで所属大学の図書館と全国の大学図書館には大変お世話になりました。

しかしながら、これ以外にも図書館はいろんな形で利用させていただいております。20年くらい前に非言語コミュニケーションという授業を担当することになり、新たに勉強しないといけないことが増えました。非言語コミュニケーションの中心は表情・視線・身振りやパラランゲージといわれる声の大きさ・強さ・話し方などですが、服装や化粧や姿勢なども非言語コミュニケーションに重要な役割を果たしています。たとえば、座り方も相手との上下関係や場の雰囲気などを反映します。では「正座」という日本の伝統的な座り方はいつから始まったのでしょうか。心理学は実証科学ですから、確かな証拠で証明する必要があります。そこで図書館の出番です。写真はありませんから絵巻物です。

「源氏物語絵巻」などを見ると、男性はどうも胡坐（あぐら）をかいていたようですが、女性はよくわかりません。貴族の女性は十二単衣を着ていますから、衣装に隠れてどんなふうに座っていたかわからないのです。胡坐あるいは胡坐の形で片膝を立てていると思われる絵が描かれている絵巻もありますが、はっきりとはしません。では庶民はどんな座り方をしていたのかということもよくわかりません。庶民が描かれた絵巻もたくさんありますが、庶民が描かれるのは戸外が主で、しゃ

がむ、胡坐をかく、胡坐で片膝を立てるなどが描かれています。正座をしていると思われる場面も出てきますが、仏様の前といった特別な場合の座り方もかもしれません。ともかく、平安時代には正座といわれる座り方はあまり一般的ではなかったようです。

では、髭はどうでしょう。髭も職業や地位や人間関係を反映します。たとえば、就職面接に髭を生やしていくことはあまりないでしょう。オーケストラのメンバーには髭を生やしている人は少ないように思いますが、ロックバンドなどでは髭を生やしている人がいます。時代によっても変わります。江戸時代には髭は禁止されていたようですが、明治から太平洋戦争終了までは、政治家や高級官吏、軍人などが生やしていました。いわば権威の象徴でした。ベトナム反戦運動が盛んな頃は逆に反権威の象徴になっていました。現在はファッションといった感じです。では、平安時代はどうだったのでしょうか。絵巻物でみると、貴族や武士は髭を生やしていたようです。「源氏物語絵巻」の光源氏には髭があります。庶民では髭があるのとなのが見られますが、どちらが一般的だったかわかりません。もし剃っていたとしたら、何で剃っていたのでしょうか。剃刀は高価で庶民には買えなかったのではないのでしょうか。

平安時代の女性がどんな座り方をしていたか、平安時代に男性は髭を剃っていたのかといったことでも、調べるのは意外と難しいのですが、図書館に行っているいろいろな手に取って見てみるしかありません。もっとも、本は何かを調べるためにだけあるわけではありません。面白いということも大切です。本物の絵巻物は美術館や博物館などで遠くからしか見られませんが、絵巻物を集めた本は図書館で手に取って見られます。絵巻物の本は私にとって大変面白いものの一つです。

自著を語る

ミネルヴァ日本評伝選「藤原四子—国家を鎮安す—」

木本 好信（幼児教育保育学科）

戦後、皇国史観から解放された日本史研究の発展はめざましいものがあります。なかでも、平清盛にはじまる武家が政治を領導した中世以降とはちがって、古代史は天皇を中心とした政治体制の時代でしたから、その研究は戦前の政治体制下の皇国史観による制約もあって停滞がみられました。戦後、これらの制約から解放された古代史の進展は瞠目すべきものでした。しかし、社会経済史・制度史の盛行に比べて、政治史では一般的には関心が高いものの、その実態がまだまだ十分に解明されていないテーマもあります。

そのひとつが、天平元(729)年からほぼ10年にわたる藤原武智麻呂・房前・宇合・麻呂四兄弟を中心とする時代のことです。なかでも注視されるのは、邸宅の発掘によって話題となり、教科書にも取りあげられている長屋王を、この四兄弟、すなわち藤原四子^{ふじわらよんし}がどのような理由によって死に追いこんだのか。なぜ、左大臣として実権を掌握していた長屋王とその政権がいと簡単に滅ぼされたのか。この陰謀を主導したのは四子のうちの誰なのか。また四子それぞれがどのような役割を担っていたのか。そして四子互いの関係はどのような状況であったのか、さらに藤原氏の四子と、太政官構成員で政治の中核にいた他の律令貴族や律令氏族との政治的な関係はどのようなものであったのかなど、いろいろと多くの問題が残っています。本書では、これらのことにつ

いて研究史をふまえたうえで筆者なりの結論を論述して解決をはかっています。

上述のような政治的な諸関心にくわえて、四子それぞれの人生にも注目して、その生涯を見すえ描きだすことにも留意しています。「日本評伝選」として重要な課題でもあります。筆者はいつも著述にあたって心にとめていることがあります。それは尊敬する歴史学者の故目崎徳衛氏の、「やはり歴史学はぎりぎりのところでは人間の学とならなければならない」(『古人への存問』19ページ、東峰書房、1986年11月)とのことばです。その点で、四子に関しては『萬葉集』や『懷風藻』に残っている歌が参考になりますが、これとても真情を吐露したものとして素直に理解することは疑問で、筆者としても苦労したところです。

この『藤原四子』は、同じシリーズの拙著『藤原仲麻呂』(2011年7月)につづくものです。これで奈良時代前期・中期の政治主導者の評伝がまとまりました。今後は後期の藤原種継の伝記をまとめてゆくつもりです。

四六判・353頁
ミネルヴァ書房
2013年5月
定価3,500円+税



随想

「図鑑に思う」

土橋 豊（生活環境学科）

良書がなかなか売れない出版不況とされる中、近年は大人も楽しめる図鑑の売れ行きが好調で、ちょっとした「図鑑ブーム」となっている。図鑑とは、写真や図を系統的に配列して、解説を加えた書物(広辞苑第六版より)とされる。図鑑により、この世に存在する森羅万象の関係がビジュアルに理解できることになる。私自身も、近年発行された『地球博物学大図鑑』などを開くと、ワクワク、ドキドキする気持ちが抑えきれない。思えば、私のこれまでの人生の歩みの中で、図鑑が果たした役割は大きく、私の著作の多くが図鑑にあたるものである。

私が生まれた昭和三十年以降、カラーの写真や挿絵を主流とするジュニア向け学習図鑑が多数出版されるようになった。小学生の時に愛読していたこれらの学習図鑑によって、世界最大の花ラフレシアや、子どもが乗れるほどの大きな葉オオオニバス、奇怪な食虫植物の存在などを知った。その時の、感動と衝撃は今も忘れることができない。以来、昆虫採集や釣りなどで出会った生物を、「図鑑」を使って調べることになった。植物を愛好する人たちには、同じような体験をされている方は結構いる。

日本の植物分野における最初の図鑑とされるもののひとつに、江戸時代末期の文政13(1830)年~弘化元(1844)年にかけて発行された岩崎濯園の『本草図譜』(1~4巻欠、92冊)が知られる。和綴本の美しい彩色写本で、約2,000図が記載されており、大正末期には数年かけて復刻されている。写真(右)は私が所有する復刻版第48巻におけるスゲユリである。

『本草図譜』の図版自体はお世辞にもうまいとはいえないが、日本の図鑑の中で、図版において秀でているのは、何と言っても小磯良平画伯の図版による『薬用植物画譜』であろう。同書は、武田薬品工業株式会社の月刊誌『武田薬報』の表紙画として13年間にわたり描かれた小磯画伯の原画を基に、刈米達夫博士が解説を加えたもので、昭和46(1971)年、非売品として関係者のみに配布されたものである。昭和48(1973)年と昭和60(1985)年には再発行されている。私は昭和48年版を所有している。同書に描かれている植物画は、武田薬品工業から届けられた植物標本を丁寧に観察し、その植物の特徴を根部にいたるまで正確に描きながら、芸術品として高められている。1枚1枚に優れた写実力が感じられる名画といえる。

図鑑の魅力はまだまだ尽きない。私の担当する卒業研究には、図鑑に関するテーマを設けている。学生の皆さんには、卒業研究などを通して、古典的名著とされる「図鑑」自体を調べたり、自らテーマを考えて図鑑を作成したりしてもらいながら、一つ一つの実態をしっかりと調査し、一定の原理・原則に従って分類・整理して示す、図鑑の奥深さを体験してほしいと願っている。

『本草図譜』第48巻
(復刻版)
岩崎濯園
著本草図譜刊行会:発行



推薦図書

「すてきなあなたに」

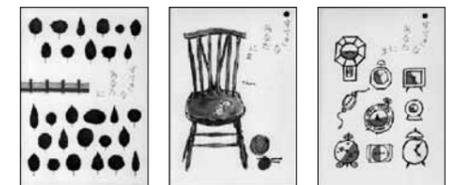
神澤 佳子（生活環境学科）

この本に出会ったのは、学生時代のことです。(かれこれ十年前!)真っ白な表紙に、手書きの文字で「すてきなあなたに」とだけ書かれているシンプルさに目をひかれました。目次を見ると、1月の章、2月の章、3月の章…と月の名前が並んでいるだけで、本編には手書きのタイトルごとに数十行のエッセイ風の文章が並んでいます。たとえば、「ポットにひとつ、あなたにひとつ」ではおいしい紅茶の入れ方の紹介が、「紙袋」では電車の中での忘れ物をめぐる顛末が、「アラ・タブル」ではフランスで知ったサラダの作り方のコツなど。中には、女性が仕事を続けることの大変さなど、人生に関わる文章もあります。今回、もう一度読み直すと、「年をとること」という文章があり、その時は気付かなかったと、年月の流れを感じつつ読みました。

この本は、雑誌「暮らしの手帖」に1969年から毎号連載されている人気コーナーが単行本となって出版されたものです。40年以上も続いているので、すでに単行本は5巻まで出版されています。作者は、「暮らしの手帖」を花森安治氏とともに創刊した大橋鎮子さんです(2013年3月に93歳で逝去)。大橋さんのご友人も何人が執筆に協力されているので、様々な体験やものの見方、いろいろな国の話が出てきてバラエティに富んでいます。大橋さんはこのコーナーの連載を始める時に「ほんのちょっとしたことでも、一言声をかけるだけでも、その場を和ませてくれる、ちょっとした心くばり、思いやり。お茶ひとつ、ケーキひとつでも、ひと手間かけるだけでおいし

く、ゆとりのある場になる。スカーフ一枚、ブローチひとつでも、ひと工夫ただけで、美しく、豊かな気持ちになれる…そんなページを作りたかったのです。」まさにその通り、これ以上の確にこの本を紹介する言葉はありません。

この本は読破するというものではなく、時々開いてひとつでもふたつでも読んで、何かすっと気分を変えたり、ほっとしたり、別の見方に気付く、そういう本です。私は枕元に置いて、寝る前に時々開きます。何か月も読まない時もありますが、手に取るとやはり癒されるというか、原点にもどるような気がします。毎日の暮らしが一番大切だと改めて思います。あなたの暮らしの中にもいかがでしょうか。



「すてきなあなたに」
大橋 鎮子:著
暮らしの手帖社:発行
1巻・5巻 2,520円・2,3,4巻 1,800円

随想

「絵本の魅力」

新家 智子（幼児教育保育学科）

読み聞かせの世界が広がったのは、出産祝いに学生時代の同級生からもらった「林明子のあかちゃん絵本」を娘に生後3か月から読み始めてからでした。初めは私自身の満足の為に始めた読み聞かせでしたが、読み始めてひと月もしない頃から小さな目を見開いてページをめくるたびに手をパタパタと動かしたりじっと見つめたりする娘の姿にびっくり!読む幸せを感じた瞬間でした。その子どもたちも大きくなり、それぞれの部屋の本棚にお気に入りだった絵本の表紙が見えるように飾っています。絵本を通して目に見えない大切なものが育ってくれたかなとうれしく見えています。

絵本の魅力は、幼いころ大人に読んでもらってしあわせな気持ちになり、大人になって読む相手ができたときにまたしあわせな気持ちになる。その時の風景や匂いととも記憶の中であたたかな灯をともししてくれる。そんな素敵な絵本の魅力を少しでも学生に伝えられたらと思っています。



「ぐりとぐら」(全シリーズ)、「はじめてのおつかい」「三びきのやぎのからがらどん」「林明子の赤ちゃん絵本」「おつきさまこんばんは」「おててがでたよ」図書館所蔵

記憶の中にある絵本の思い出は「ぐりとぐら」。たぶん幼稚園で先生が園児椅子に座って子どもたちを集めて読んでくれたのでしょう。子どもの頃先生が読んでくれた絵本を見上げると、フライパンのふたをあけたら黄色くて大きなカステラがあらわれたページだけをなぜか鮮明に覚えています。そして、この記憶と共に思い出すが、子どもの頃に母が無水鍋で焼いてくれたケーキの甘い香りです。黄色くてふわわりと鍋の中で膨らんだケーキは特別な日のおやつでした。きっとこの二つの思い出が頭の中でミックスされてしあわせな子ども時代の思い出になっているのでしょう。

「はははのはなし」や「ちのはなし」などが好きなちよつと変わった子どもだった私。その後は特に本好きになることなく、はやりの本をかじるくらいの子どもの時代を過ごしました。

次に訪れた絵本との出会いは大学時代です。「はじめてのおつかい」や「三びきのやぎのからがらどん」、その他にも様々な絵本に出会いました。そしてここで再び出会ったのが「ぐりとぐら」でした。学生同士で絵本を読み合う授業で友だちが読む「ぐりとぐら」を見ていて、あのカステラが出来上がる場面で私の脳裏には「母の無水鍋で作るケーキの甘い香り」が広がり、絵本の中で黄色くふわわりと膨らむあのカステラのページにくぎ付けになりました。この時、「絵本ってすごい!」と実感したのです。何度も何度も幸せな気持ちが広がる魅力的な絵本の世界の扉を開けた大学時代でした。

その後保育者となって子どもたちの前で様々な絵本を読み、子どもたちのわくわくドキドキする表情にふれるなかで、ますます絵本の魅力にはまっていきました。

「一つの出会いから広がる世界」

上田 智佳 (幼児教育保育学科)

この夏、我が家ではチャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」の音楽が常に流れていた。その脇では、狭いリビングにも関わらず、踊っている娘。そう、彼女が10年ほど通っているバレエ教室の発表会を目前に控えていたからだ。全幕といってストーリー全部を上演する形はほとんど経験がないため、端役なのにかかなりの張り切り様だった。そこで「くるみ割り人形」についてもっと知ろう!!ということになった。

生のバレエ公演でこの作品を何度か見た経験があった。バレエ団によって、ストーリーが違えば、振り付けや衣装など、みな違う。友だちと交換し合ってDVDを見てみた。これも変化に富んでいた。「一体、元のストーリーはどうなってんの?」の疑問にはじまり、本を読むことにした。

図書館や本屋で探してみると、絵本や児童文学のコーナーに並んでいた。私も子どもの頃この絵本を買ってもらったことを懐かしく思い出しながら眺めていた。まず、本のタイトルが「くるみ割り人形」や「クルミわりとネズミの王さま」と異なっていて、また主人公名が様々だった。そしてストーリーも微妙に違っていた。娘にとっては、新しい発見があり、世界が広がった。

続いて、音楽に注目してみた。バレエ音楽は振付に左右される。

男性が躍るときは重厚感があるように演奏し、男性が女性をリフトする(持ち上げる)時は音楽を盛り上げるなど、独特の演奏法がある。そして最後の決めポーズと音楽がぴったり合うと拍手喝采である。踊り、音楽、大道具、衣装、ストーリーが絡み合った、これぞ総合芸術である。

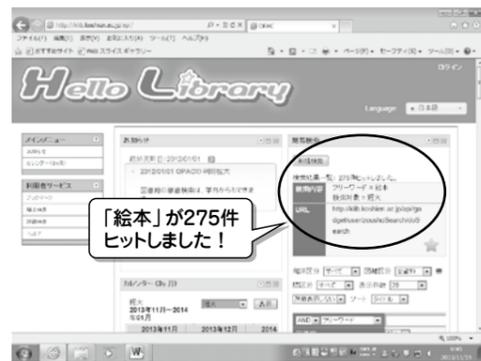
また、演奏のみのCDを聴くと、指揮者やオーケストラによってテンポや表現が若干違って聴くのが楽しい。私たち音楽家は、1つの曲を演奏するために、作曲家の人生や時代背景を調べ、可能な限り編者の違う楽譜を集め、比較・研究をしたうえで演奏に取り組む。メカニクスのトレーニングから音色の研究まで、これで良いというゴールが見えないかもしれない。ただ、その時その時、精一杯その曲に愛情を注いでいることは確かである。

今回、きっかけは小さなバレエ教室の発表会の演目ではあったが、図書館に足を運ぶこととなった。そこには多くの視聴覚教材が並んでいる。興味を持ったことを、さらに深く追求することが可能である。自分の視野が広がる場所だと思う。皆さんも、知りたいと思ったことがあった時は、是非図書館に足を運んで下さい。きっと新しい発見があることでしょう。

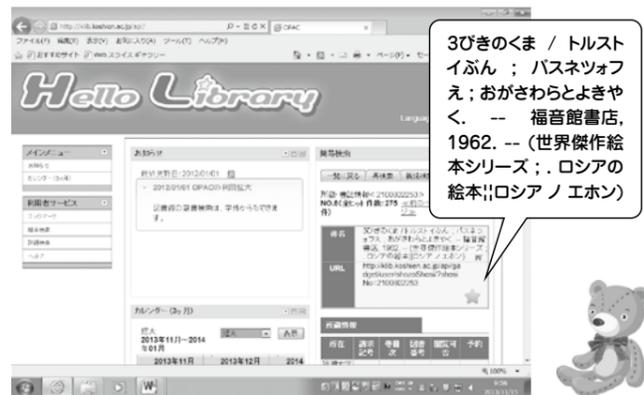
図書館蔵書検索システムについて

図書館の蔵書は、学外のインターネットからでもアクセスは可能です。

- 1) 短期大学ホームページ (<http://www.koshien-c.ac.jp/>) をひらく
- 2) 図書館Libraryのコーナーをひらく
- 3) 「図書館蔵書検索」をクリック
→「Hello Library」蔵書検索システム(OPAC)をひらく
- 4) 簡易検索の欄で
→「フリーワード」の欄に検索したいキーワードを入力
(例: 絵本)
この欄は「タイトル」「著者名」「請求記号」などに
変更することも可能
→検索対象を「短大」に変更する
※欄の検索項目を変更したい場合は▼をクリック



- 5) 蔵書検索結果一覧から必要な図書情報を選んでクリック
- 6) 書架から図書を探す
- 7) 貸し出し手続きをとる



新着図書紹介目録

この目録は、平成25年4月から9月にかけて図書館で購入した図書180冊のうち、各学科の先生方がぜひ皆さんに読んでほしいと推薦された図書の一覧です。分類番号の見方は、館内掲示の「本の探し方」を参照してください。

書名	編著者名	発行所	分類番号	書名	編著者名	発行所	分類番号
消費者情報2013年4月号No.440 こんなときどうする! 若者の「消費者とらぶるQ&A」	関西消費者協会	関西消費者協会	<雑誌>	自然・植物あそび一年中 -毎日の保育で豊かな自然体験!	出原 大	学研教育出版	376.154
バイオセラピー学入門 -人と生き物の新しい関係をつくる 福祉農学	林 良博 山口 裕文 編著	講談社	146.8	保育が変わる! 0歳からの造形遊びQ&A	照沼 晃子 平田 智久	フレーベル館	376.157
履歴書Eメール志望動機自己PRの書き方 (2014年度版)	就職総合研究所 編	日本シナプス	336.42	楽しい舞台を演出する音楽発表会 -歌・合奏・リズム・音楽劇・舞踊劇	武田 道子	チャイルド本社	376.157
文春文庫 聞く力 -心をひらく35のヒント	阿川 佐和子	文藝春秋	361.45	保育実用書シリーズ こどものうた200	小林 美実	チャイルド社	376.157
よくわかる!新しい介護保険のしくみ (平成24年改正対応版)	長谷 憲明	瀬谷出版	364.4	保育実用書シリーズ こどものうた200<続>	小林 美実	チャイルド社	376.157
18歳から考える消費者と法	坂東 俊矢 細川 幸一	法律文化社	365	日本で見られる熱帯の花ハンドブック	土橋 豊	文一総合出版	471.77
岩波新書 消費者の権利 (新版)	正田 彬	岩波書店	365	フィールドベスト図鑑 日本の有毒植物	佐竹 元吉 監修	学研	471.9
しっかり学ぶ介護福祉士ワークブック(2013) -ミネルヴァ国家試験対策	高橋 幸三郎 他監修	ミネルヴァ書房	369	図説 世界史を変えた50の植物	ビル・ローズ	原書房	471.9
介護福祉士国家試験過去問解説集 (2014) 第23回-第25回全問完全解説	介護福祉士国家試験受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17	カラ図解 脳・神経のしくみ・はたらき事典	野上 晴雄	西東社	491.171
見て覚える! 介護福祉士国試ナビ (2013)	いとう総研資格取得支援センター 編	中央法規出版	369.17	爪のケア・手足のケア技術 -ピクチャーブック	日本フットケア協会 室谷 良子	看護の科学社	492.9
懐かしい記憶から引き出す生きがい -特別養護老人ホームにおける回想法の介入効果	津田 理恵子	現代図書	369.26	ペコロスの母に会いに行く	岡野 優一	西日本新聞社	493.75
介護の生理学 -自立支援介護の実践のために知っておきたい理論と技術	竹内 孝仁 監修	秀和システム	369.26	調理師試験問題と解答 (2013年版)	日本栄養士会 編	第一出版	596.07
就活ネットワークの就職試験完全対策 事務職・一般職SP12の完全対策(2014年度版)	就活ネットワーク 編	実務教育出版	369.42	ホスピタリティ入門	青木 義英 編著	新曜社	673
子どもたちに「生き抜く力」を -釜石の事例に学ぶ津波防災教育	片田 敏孝	フレーベル館	374.92	ザ・ホスピタリティ 「おもてなし」「思いやり」から経営へ	中根 貢	産業能率大学出版部	673.1
子どもと歩けばおもしろい -対話と共感の幼児教育論 (新版)	加藤 繁美	ひとなる書房	376.1	くだもの	平山 和子	福音館書店	726.5
最新保育資料集<2013>	森上 史朗 監修	ミネルヴァ書房	376.1	どんどこ ももんちゃん	とよた かずひこ	童心社	726.5
乳児保育の基本	汐見 稔幸 他 責任編集	フレーベル館	376.1	たのしい年中行事のうた -簡易伴奏ピアノ・ソロ ピアノといっしょに		ケイ・エム・ピー	767.7
保育の学校 1 保育の基本と学び編	無藤 隆	フレーベル館	376.1	たのしいこどものうた大全集 202 -ピアノ/簡易伴奏つき	永岡書店	永岡書店	767.7
0歳~6歳心の育ちと対話する 保育の本	加藤 繁美	学研教育出版	376.11	たのしいこどものうた大全集 202 (パート2) -ピアノ/簡易伴奏つき	永岡書店	永岡書店	767.7
公立保育士採用試験の合格知識 問題集 (専門編)(4訂版)	中村 一樹	三修社	376.14	こどもとうたう 春・夏・秋・冬 一年の行事のうた	ソコ・ミュージック・インタ イミット	ソコ・ミュージック・インタ イミット	767.7
公立保育士採用試験の合格知識 問題集 (知能編)(3訂版)	中村 一樹	三修社	376.14	フラワーデザイン入門 花と遊ぶ・花を学ぶ	日本フラワーデ ザイナー協会	講談社	793
保育士・幼稚園教諭採用試験 問題集 (2014年度版)	保育士試験研究会 編	実務教育出版	376.14	漢検過去問題集 1/準1級 (平成25年度版)	日本漢字能力検 定協会 編	日本漢字能力検 定協会	811.2
保育士・幼稚園教諭論文・面接 対策ブック (2014年度版)	保育士試験研究会 編	実務教育出版	376.14	漢検過去問題集 2級 (平成25年度版)	日本漢字能力検 定協会 編	日本漢字能力検 定協会	811.2
保育所保育指針解説書	厚生労働省	フレーベル館	376.15	漢検過去問題集 準2級 (平成25年度版)	日本漢字能力検 定協会 編	日本漢字能力検 定協会	811.2
幼稚園教育要領解説 (平成20年10月)	文部科学省	フレーベル館	376.15	きみはいい子	中脇 初枝	ポプラ社	913.6

読書感想文優秀作

『西の魔女が死んだ』 (梨木 香歩 著/新潮社)

生活環境学科 I 回生 1 組 明石 佳那子

この物語は主人公のまいという女の子がおばあちゃんと一緒に暮らした一か月余りの物語です。まいは中学生になったばかりの頃、学校に行けなくなってしまいます。そしてまいは、西の魔女であるまいのおばあちゃんの家で過ごすこととなります。まいは小さい頃からおばあちゃんのことを大好きで、おばあちゃんもまいのことをあたたかく迎えて、二人で暮らし始めます。おばあちゃんの家は田舎の自然にかこまれた場所で、まいの心は癒されます。日々の生活の中で、おばあちゃんはまいと一緒にさまざまなことをして、上手に生きてゆくために大切なことを教えていきます。そして魔女修行によって、まいの心は変化しながら成長します。

まいは人一倍感受性が強く神経質な子です。そのため、多くの悩みがあり扱いにくく、生きてゆきにくい子と言われてしまうのです。まいは学校をしばらく休み、おばあちゃんの所に行きます。傷ついて心が落ちこんでいるまいにとって、おばあちゃんは優しくとても大きな存在だったのではないかと思います。まいは少しの出来事で自分の感情が大きく変わりコントロールできなくなります。そんなまいに、おばあちゃんはまず生活の基本を教えます。精神力をつけるために早寝早起きをして食事と運動をしっかりすることです。規則正しい生活することは簡単ようで難しいと思います。でもそれを毎日続けると意志の力が強くなり、自分で決めたことをやり遂げる力がつきます。私も以前に小さな事ですが新聞を毎日読むと決めました。しかし、なかなか続かなくて読まない日もありました。でもすべてに目を通してみるとおもしろい記事やためになる事がたくさんありました。そして自分の興味のない分野についても知ることができました。今は新聞を読むことが習慣になっています。おばあちゃんは何でも良いから、何かをまいに続けてほしかったのだと思います。

おばあちゃんの言葉で私が一番心に残ったのは、「最初は何も変わらなくてもあきらめずにやり続けて、そして永久にできないと思うころに、突然今までと違う成長した自分に出会える」という言葉です。自分には無理だと思ったり、あきらめたりしないことが大切だと改めて感じました。おばあちゃんがまいに「自分で決める」ことをさ

せたのは、人生の中で自分で決めなければならないことが多いからだだと思います。幸せだと感じるのは人によって違うので、自分のやりたいことを正しく選んで決めるのはとても重要です。私はこの物語でまいとおばあちゃんが会話している部分がとても好きです。まいが話す素直な疑問がかわいいからです。おばあちゃんはいつも丁寧に答えていてとても和やかな場面です。そしておばあちゃんは、まいに生活の知恵をたくさん教えています。おばあちゃんの生活の中には無駄な物が出てきません。今の私たちの生活はとても豊かで便利な物がまわりにあふれていますが、便利になりすぎて、自分でできることまで機械などに頼っているのではと考えます。私は便利な物がたくさんあるよりも、本当に必要な物だけがある生活の方が幸せであるように思いました。

おばあちゃんの家は近所にゲンジさんという男の人が住んでおり、まいの苦手な人です。ゲンジさんの態度や言葉がまいには気に入らず、ストレスとなります。しかしおばあちゃんは冷静に、恨みや憎しみの感情は自分自身を疲れさせると言いました。たしかに私も、人とトラブルがあったとき、人の悪い所ばかり見て悪循環となり、結局自分のストレスがたまり嫌な気持ちになります。学校や職場では自分の苦手な人ともうまくつきあっていたいかなければなりません。難しいことですが、これから生きてゆくために必要だと思えます。

この物語は、今まで読んだ本の中でもとても大好きな本です。なぜなら主人公のまいと私は似ている所がたくさんあると思ったからです。そして、おばあちゃんという言葉の中にはしっかりと生きてゆくためのヒントがたくさんありました。いろいろな教訓がありました。おばあちゃんはただ、まいに幸せになってほしいのだと思いました。物語の最後に数年後のまいが登場しますが、最初と比べると自分の言葉や行動に自信がついて、人に流されず強くなっていると感じました。おばあちゃんは亡くなってしまいますが、まいに伝えたたくさんのことや魔女修行は、まいの中で一生消えないでしょう。魔女修行はまず生活のリズムをつけ、自分で決めた計画を実行することでした。これは特別なものではなく、誰にでもすぐに始められるのではないかと思います。この物語は、多くの学びや新しい気づきを私に与えてくれました。

[評] おばあちゃんという言葉や考え方に触れてまいが成長した様子が、よく描かれています。明石さんが気づいた「生活のリズムをつけ、自分で決めた計画を実行」の実践を皆さんにも期待します。



読書感想文・課題図書より

この目録は、I 回生対象の平成 25 年度読書感想文・課題図書の一部です。II 回生にも読んでもらいたい本が推薦されていますので紹介します。

書名	著者名	発行所	分類番号	書名	著者名	発行所	分類番号
オオカミ少女はいなかった 心理学の神話をめぐる冒険	鈴木 光太郎	新曜社	140.4	何者	朝井 リョウ	新潮社	913.6
あなたは人生に感謝ができますか? -17歳の心理学に教えられる幸せな生き方の道しるほ-	佐々木 正美	講談社	143	角川文庫 県庁おもてなし課	有川 浩	角川書店	913.6
わたしが子どもだったころ (1)(2)(3)	NHK「わたしが子どもだったころ」制作グループ 編	ポプラ社	281	阪急電車	有川 浩	幻冬舎	913.6
講談社現代新書 自分を愛する力	乙武 洋匡	講談社	289.1	新潮文庫 せんせい。	重松 清	新潮社	913.6
一生一途に -4歳正妻いっちゃんの闘争体験記と57年間のまんが輪日記-	竹浪 正造	廣済堂出版	289.1	宝島社文庫 おやすみラフマニノフ	中山 七里	宝島社	913.6
講談社現代新書 わかりあえないことから -コミュニケーション能力とは何か-	平田 オリザ	講談社	361.45	舟を編む	三浦 しをん	光文社	913.6
講談社+a文庫 「老いる」とはどういうことか	河合 隼雄	講談社	367.7	ギツちゃん	山下 澄人	文藝春秋	913.6
人は死なない -ある臨床医による摂理と霊性をめぐる思索-	矢作 直樹	バジリコ	490.16	心の万華鏡 -女教師・子育て・介護-	阪野 光子	ミネルヴァ書房	914.6
集英社新書 耳を澄ませば世界は広がる	川島 成道	集英社	762.1	窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子	講談社	916
満月の夜、母を施設に置いて	藤川 幸之助	中央法規出版	911.56	集英社文庫 星の王子さま	サトウハチロー 池澤 夏樹 訳	集英社	953

引用と参考の違いについて

甲子園短期大学図書館では、毎年 I 回生の皆さんに夏期休暇中の課題として、読書感想文を書いてもらっています。今年も力作が揃い、今号にも優秀作品が掲載されました。400字詰原稿用紙5枚以上という課題は、感想文を書くことが苦手な人にとっては大変なことだったと思います。

「どうやって感想文を書けば良いのだろうか?」「参考にできる感想文はないかしら?」
悩んだ結果、インターネットを使って「読書感想文の書き方」や「読書ブログ」などのサイトを検索した人もいたのではないのでしょうか?検索自体は悪いことではありません。しかしお手本として紹介された感想文や「読書ブログ」に掲載されたコメントなどを、そのまま断りなく自分の感想文に書き写してしまつたら…それは他人の文章を無断で引用した犯罪行為=「著作権の侵害」になり、場合によっては懲役や罰金が生じることもあるのです。

著作権を侵害することなく、誰かの文章を「引用」することは可能なのではないでしょうか?「引用」という言葉を辞書で引くと「自分の説のよりどころとして他の文章や事例または古人の語を引くこと。(岩波書店・広辞苑第六版より)」と書かれています。「語を引くこと」とは「言葉を書き写すこと」につながります。著作権について扱っている文化庁のサイトでは、引用について以下のように書かれています。

- 文化庁「著作権なるほど質問箱」より**
(<http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/outline/8.h.html>)
- 「引用」とは、例えば自説を補強するために自分の論文の中に他人の文章を掲載しそれを解説する場合のことをいいますが、法律に定められた要件を満たしていれば著作権者の了解なしに引用することができます(第32条)。この法律の要件ですが
- (1)引用する資料等は既に公表されているものであること
 - (2)「公正な慣行」に合致すること
 - (3)報道、批評、研究などのための「正当な範囲内」であること
 - (4)引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること
 - (5)カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること
 - (6)引用を行う必然性があること
 - (7)出所の明示が必要なこと(複製以外はその慣行があるとき)(第48条)

の要件を満たすことが必要です(第32条第1項)。(2)と(3)の要件については、判例で明確になっており、少なくとも自分の著作物と他人の著作物が明瞭に区分されていること(引用部分の明確化)、自分の著作物が主体であり、引用する他人の著作物は従たる存在であること(主従関係)、引用しなければいけない相当の理由があること(必然性)などが必要です。

図書館ガイダンス報告

図書館ガイダンス I ・クラス別受講者数
実施時期：平成25年5月13日(月)～5月24日(金)

学科	I 回生		II 回生		学科別
生活環境 学科	1 組	17	1 組		32
	2 組	15	2 組		
幼児教育 保育学科	1 組		1 組		0
合計	I 回生	32	II 回生	0	32

図書館では、4月の新入生対象オリエンテーションで図書館の利用方法についてガイダンスをするほか、5月と11月にも希望学生を対象としたガイダンスを実施しています。平成25年度のガイダンス参加者数は上記の通りでした。以下にガイダンス内容を紹介します。どんなガイダンスを受講したいか、皆さんからのリクエストをお待ちしています。カウンターへ気軽に声をかけてください。

<ガイダンスI>

- ① **図書館の本を探そう**
・日本十進分類法って何? ・書名目録カードを上手に活用しよう!
- ② **インターネットを使って情報収集してみよう**
・効果的な検索キーワードを見つけよう! ・他図書館の蔵書も検索してみよう!
・実習先や就職先の情報、どうやって調べるの?
- ③ **相互貸借・文献複写について**
・雑誌論文を探してみよう! ・図書館に文献がなかったらどうするの?
- ④ **著作権について知っておこう!**
・引用文献と参考文献、どこが違うの?

つまりその文章(著作物)が公表されており、引用する必然性があれば、引用部分にカギ括弧などをつけて自分の文章と明確に区別することで、著作権者の了解なしに引用することは可能なのです。その場合、自分の文章と引用する文章(著作物)との主従関係が明確であること(自分の文章が主体)や、出所の明示(書名や掲載箇所、サイト名など)がされていることが必要になってきます。

それではブログに掲載された文章を読んだだけで、書き写さなかった場合はどうなるのでしょうか? この場合は「参考にした」と言います。「参考」とは「てらしあわせて考えること。自分の考えややり方を決める手がかりとすること。また、その材料。(岩波書店・広辞苑第六版より)」で、「参考文献」とは「調査・研究などの参考資料とする文献。(小学館・精選版日本国語大辞典より)」のことを指します。

「引用」と「参考」の違いをしっかりと把握できていれば、読書感想文だけでなく論文やレポート作成にも応用できます。

参考文献とは、論文やレポートを書く人が構想を練ったり、骨組みやストーリーを考えるときに参考にした文献をいう。参考にした文献・資料の影響が大きければ大きいほど、それらからの引用も増えるだろうから、当然、引用文献にもリストアップされることになる。卒論やゼミ論を書くとき、この両者を区分して列記するよう求められることがある。(実業之日本社・わかりやすい論文レポートの書き方 181pより)

「著作権の侵害」についてもう少し説明しておきます。皆さんにとって身近な例では、違法ファイルのダウンロードやコピーしたソフトを友人同士で交換しあうのも「侵害」行為になります。

「著作権」を辞書でひくと「知的財産権の一つ。著作物がその著作物を排他的・独占的に利用できる権利。その種類は著作物の複製・上演・演奏・放送・口述・展示・翻訳などを含み、作者の死後一定期間存続する。(岩波書店・広辞苑第六版より)」と書かれています。この場合の著作物とは、「著作物を創作した人」のことです。プロの小説家や画家、作曲家などだけを対象としているのではなく、年齢や職業、作品の上手下手関係なく、幼稚園児が描いた絵であっても「著作権」は発生します。出版されたり、放送されたりするものだけが対象ではないのです。ホームページやサイトの文章、ブログのコメントにも「著作権」があるのです。

以上のことをしっかりと踏まえ、正しい「引用」方法を身につけるようにしましょう。



図書館ガイダンス II ・クラス別受講者数
実施時期：平成25年11月5日(月)～11月29日(金)

学科	I 回生		II 回生		学科別
生活環境 学科	1 組		1 組		12
	2 組		2 組	12	
幼児教育 保育学科	1 組		1 組		0
合計	I 回生	0	II 回生	12	12

<ガイダンスII>

ガイダンス I に参加した人には、以下から選んでもらいました。
①辞書のひき方についておさらいしてみよう!
②著作権について詳しく知っておこう!



読書感想文 入選者と書名

優秀作	生活環境学科	1組 1番	明石 佳那子	「西の魔女が死んだ」
佳作	幼児教育保育学科	1組 6番	上田 珠久	「星の王子さま」
佳作	生活環境学科	2組 2番	井上 風花	「西の魔女が死んだ」

読書感想文優秀作

「感想文を書くのが苦手!」「苦手というより、むしろキライ!!」という人、実は多いのではないのでしょうか?

感じたこと、思ったことを書くのが「感想文」です。よく見かけなのが「あらすじ紹介文」ですが、書き方によっては立派な感想文になります。ちょっとしたコツや注意点を紹介しますので、参考にしてください。

〈1〉本のストーリーのあらすじを紹介しつつ、自分の感想をはさみこんでいく。

- ①自分が、その立場に立ったら…として書く。
- ②自分の生活や体験と比較して書く。

〈2〉誰か特定の人物に宛てて感想を書く。

- ①作中の人物に語りかけて書く。
- ②作者に手紙調で訴えかけて書く。
- ③友人にその本を読むことを薦めて書く。

〈3〉同じ系統の本と比較したり、作者について調べて感想を書く。

- ①同じようなストーリーの本と比較して書く。
→「恋愛もの」「ミステリー」「ノンフィクション」など。
- ②同じ作者の作品を調べ、指定の作品を位置づける。

この8点は
必須項目!

- (1)文字は、ていねいに、わかりやすく書いているか。
- (2)誤字、あて字、脱字、送り仮名の間違いはないか。
- (3)文のおわりが「である・だった」調と「です・ます・でした・ました」調の併用になっていないか。(どちらかに統一する)
- (4)段落分けがきちんとできているか。
- (5)作品のテーマは何であるか、また作品全体からどのような感銘を受けたかについて記述しているか。
- (6)作品と自分とのつながりに触れているか。
- (7)引用した文章について、その出典先の情報はもれていないか。
- (8)自分の名前や学科名を書いているか。



課題図書の中には、映像化された作品も数多く含まれています。本を読むだけではイメージがわかず、参考に観る人もいるでしょう。その場合映像作品(DVD)の鑑賞文にならないよう、気をつけてください。原作(課題図書)には登場せず、映像化された作品だけに登場するシーンについて感想を書く人もいますが、それは認められません。どうしても取り上げたいなら、なぜ原作(課題図書)にないシーンを映画では取り入れたのか、原作(課題図書)には何が足りなかったのか、と掘り下げて書くようにしてください。映像作品(DVD)に出演する俳優さんについての感想も、自分が想像していた姿かたちとは違ったが、自分はこのような理由からスリムな人物を想像していたが、映像作品(DVD)ではポッチャリしていた、など原作(課題図書)を中心とした感想を書きましょう。作品中の文章を引用する際は「で<<<り、自分の文章と区別しましょう。黙って使用したら「盗作」になります。

<参考文献:松尾 弥太郎 編 「読書感想文指導の実際」共文社 発行>

◆ ■ ◆ あ ・ と ・ が ・ き ◆ ■ ◆

図書館というと、必要な図書を探し読書するところというのが普通の理解です。しかし、限りある図書・雑誌の架蔵数ですから、来館者のすべての希望に応えることは到底できません。わたくしの経験からしても希望図書・雑誌のすべてが一か所の図書館で事足りたということはありません。でも、そのような不便さは昔のことです。いまでは大学附属図書館同士で相互貸借が行われていて、2~3日を要しますが希望の図書・雑誌は手許に取り寄せることも、コピーを依頼することもできます。つまり、我が附属図書館の入り口は日本全国の大学附属図書館、そして国立国会図書館への入り口へとつながっているのです。こういう意味で我が附属図書館は十二分に学生のみなさんの希望に応じてゆけるとおもいます。(館長・木本好信)



編集発行

甲子園短期大学図書館

〒663-8107 西宮市瓦林町4-25
TEL.0798(65)3300/FAX.0798(67)9101
<http://www.koshien-c.ac.jp/>
(短期大学ホームページ)